

千葉の海辺・新聞コンクール

《海と日本2024》

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

船橋に伝わる民話を探る 児童記者が関係地を取材

千葉県教育・文化・スポーツ振興協会が主催する「千葉の海辺、新聞コンクール（海と日本2024）」の一環で、児童記者が船橋市に伝わる民話「雪どけ塚の白へび」の関係する場所を取材して回った。同市の歴史や海の豊かさを学び、郷土を見つめ直すきっかけとなった。

同民話は、漁の最中に沖合で嵐に見舞われた漁師が、白へびの目の光に導かれて帰還できたという内容。参加した児童記者らは、船橋大神宮や三番瀬、長福寺を巡って取材。禰宜（ねぎ）や科学コミュニケーターらに話を聞いたり「雪どけ塚」とされる場所の撮影をしたりした。

市内の地名と伝説の関係や、三番瀬の生態系、市内の文化財について取材した児童記者らは「地元のことなのに知らないことが多かった」「様々な伝説の話が興味深かった」など感想を話した。

